



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月5日 東

上場会社名 日産化学工業株式会社 上場取引所
 コード番号 4021 URL <http://www.nissanchem.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 木下小次郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 吉田洋憲 (TEL) 03-3296-8356
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	45,190	6.4	9,426	5.8	10,240	10.2	7,208	14.0
27年3月期第1四半期	42,491	5.6	8,910	32.4	9,293	22.1	6,325	22.4

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 8,082百万円(17.1%) 27年3月期第1四半期 6,904百万円(1.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	45.85	—
27年3月期第1四半期	39.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	213,812	150,414	69.7
27年3月期	223,854	151,263	66.9

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 148,956百万円 27年3月期 149,782百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	14.00	—	22.00	36.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	18.00	—	22.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	85,000	6.4	12,900	3.1	13,600	6.8	10,100	14.1	64.94
通期	181,000	5.7	26,500	4.5	27,600	4.6	20,600	13.2	132.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成28年3月期の連結業績予想の1株当たり当期純利益は、平成27年7月までの自己株式の取得および消却を考慮して算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	158,000,000株	27年3月期	158,000,000株
28年3月期1Q	2,083,837株	27年3月期	286,679株
28年3月期1Q	157,214,729株	27年3月期1Q	160,477,948株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

平成27年8月5日(水)に、決算説明資料をホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年6月30日)の国内景気は、円安、企業業績の改善を背景に緩やかな回復傾向が続きました。当社グループの事業につきましては、化学品部門では、原燃料価格下落によるメリットを享受しました。機能性材料部門は、特にディスプレイ材料が好調を維持しました。農業化学品部門は、農薬の販売が国内外ともに大幅に伸長しました。医薬品部門は、後発医薬品の影響により「リバロ」(高コレステロール血症治療薬)の国内販売が悪化しました。

この結果、当期間における業績は、売上高451億90百万円(前年同期比26億98百万円増)、営業利益94億26百万円(同5億16百万円増)、経常利益102億40百万円(同9億47百万円増)、親会社株主に帰属する四半期純利益72億8百万円(同8億83百万円増)となりました。

セグメント別概況は以下のとおりであります。

化学品部門

基礎化学品では、メラミンの輸出販売量が増加しました。ファインケミカルでは、「ハイライト」(殺菌消毒剤)の輸出販売が前年を上回りました。

この結果、当部門の売上高は86億70百万円(前年同期比1億93百万円増)、営業利益は14億62百万円(同4億99百万円増)となりました。

機能性材料部門

「サンエバー」(液晶表示用材料ポリイミド)は、TVなどの大型向けに加え、スマートフォンなどの中小型向けも堅調に推移しました。半導体用反射防止コーティング材(ARC®)は、堅調な半導体需要を背景に販売が伸びました。「スノーテックス」(電子材料用研磨剤、各種表面処理剤等)は、電子材料用研磨剤向けで苦戦しましたが、その他一般用途での出荷が前年を上回りました。

この結果、当部門の売上高は129億60百万円(前年同期比11億17百万円増)、営業利益は33億70百万円(同38百万円増)となりました。

*ARC®はBrewer Science, Inc. の登録商標であり、フォトレジスト下で使用される反射防止膜及び、多層材料を含みます。

農業化学品部門

国内に関しては、「アルテア」(水稲用除草剤)の販売量が増加しました。輸出につきましては、「タルガ」(畑作用除草剤)およびフルララネル(動物用医薬品原薬)の出荷が順調に推移しました。

この結果、当部門の売上高は135億99百万円(前年同期比12億64百万円増)、営業利益は43億96百万円(同4億15百万円増)となりました。

医薬品部門

「リバロ」原薬は、海外向けは堅調でしたが、国内向けは厳しい状況が続きました。「ファインテック」(医薬品研究開発参加型事業)は、一部顧客向けの出荷時期が後倒しになったことで売上が減少しました。

この結果、当部門の売上高は20億51百万円(前年同期比4億19百万円減)、営業利益は3億84百万円(同3億73百万円減)となりました。

卸売部門

農薬等が伸長し、当部門の売上高は147億45百万円(前年同期比6億18百万円増)、営業利益は4億65百万円(同19百万円減)となりました。

その他の部門

当部門の売上高は41億9百万円(前年同期比2億91百万円増)、営業損失は31百万円(同77百万円改善)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が減少したことなどにより、前連結会計年度末比100億41百万円減の2,138億12百万円となりました。

負債も有利子負債が減少したことなどから、前連結会計年度末比91億92百万円減の633億98百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末比8億49百万円減の1,504億14百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末比2.8ポイント増加し、69.7%になりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年6月30日)の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費、運転資金の増減などから法人税等の支払額を控除した結果、105億53百万円の収入(前年同期は65億90百万円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、工場などの設備投資を中心に19億34百万円の支出(前年同期は10億13百万円の支出)となりました。

また、財務活動によるキャッシュ・フローでは、借入金の返済、配当金の支払などにより178億39百万円の支出(前年同期は128億34百万円の支出)となりました。

現金及び現金同等物の四半期末残高は、換算差額60百万円、新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額61百万円を調整した結果、前連結会計年度末に比較して90億99百万円減少し、222億43百万円(前年同期は234億55百万円)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想は、前回発表(平成27年5月12日)の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替を行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,343	22,243
受取手形及び売掛金	58,133	55,335
商品及び製品	28,123	28,491
仕掛品	59	367
原材料及び貯蔵品	7,885	8,401
その他	7,931	7,557
貸倒引当金	△29	△30
流動資産合計	133,448	122,366
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	22,702	22,757
その他(純額)	24,426	23,634
有形固定資産合計	47,128	46,391
無形固定資産		
のれん	4	485
その他	669	4,672
無形固定資産合計	674	5,158
投資その他の資産		
投資有価証券	38,711	35,939
その他	4,079	4,135
貸倒引当金	△187	△179
投資その他の資産合計	42,603	39,896
固定資産合計	90,406	91,445
資産合計	223,854	213,812

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,077	14,684
短期借入金	26,041	17,776
未払法人税等	3,807	2,522
賞与引当金	1,827	593
役員賞与引当金	24	5
環境対策引当金	315	314
その他	8,940	9,476
流動負債合計	56,034	45,372
固定負債		
長期借入金	9,060	9,060
事業構造改善引当金	704	704
退職給付に係る負債	174	158
その他	6,618	8,103
固定負債合計	16,556	18,025
負債合計	72,590	63,398
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,942	18,942
資本剰余金	13,611	13,611
利益剰余金	105,602	108,841
自己株式	△584	△5,469
株主資本合計	137,572	135,925
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,676	11,175
為替換算調整勘定	894	1,235
退職給付に係る調整累計額	639	618
その他の包括利益累計額合計	12,210	13,030
非支配株主持分	1,481	1,458
純資産合計	151,263	150,414
負債純資産合計	223,854	213,812

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	42,491	45,190
売上原価	24,201	25,643
売上総利益	18,290	19,547
販売費及び一般管理費	9,380	10,120
営業利益	8,910	9,426
営業外収益		
受取利息	5	2
受取配当金	273	235
為替差益	-	203
持分法による投資利益	224	314
その他	158	225
営業外収益合計	662	981
営業外費用		
支払利息	77	62
その他	202	104
営業外費用合計	279	167
経常利益	9,293	10,240
特別利益	-	-
特別損失	-	-
税金等調整前四半期純利益	9,293	10,240
法人税、住民税及び事業税	2,232	2,315
法人税等調整額	703	666
法人税等合計	2,936	2,982
四半期純利益	6,357	7,257
非支配株主に帰属する四半期純利益	31	48
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,325	7,208

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	6,357	7,257
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	366	498
為替換算調整勘定	195	347
退職給付に係る調整額	△13	△20
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	547	825
四半期包括利益	6,904	8,082
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,852	8,028
非支配株主に係る四半期包括利益	52	54

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,293	10,240
減価償却費	1,788	2,140
受取利息及び受取配当金	△278	△237
支払利息	77	62
固定資産処分損益(△は益)	33	33
売上債権の増減額(△は増加)	1,673	2,870
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,802	△1,143
仕入債務の増減額(△は減少)	△675	△472
その他	△230	420
小計	9,878	13,913
利息及び配当金の受取額	278	298
利息の支払額	△37	△33
法人税等の支払額	△3,529	△3,624
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,590	10,553
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△1,210	△3
投資有価証券の売却による収入	3,025	105
有形固定資産の取得による支出	△2,587	△1,813
有形固定資産の除却による支出	△31	△25
短期貸付金の純増減額(△は増加)	△136	△37
その他	△73	△160
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,013	△1,934
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△10,204	△8,288
配当金の支払額	△2,567	△3,469
非支配株主への配当金の支払額	△50	△70
自己株式の取得による支出	-	△4,885
自己株式取得目的の金銭の信託の設定による支出	-	△1,115
その他	△12	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,834	△17,839
現金及び現金同等物に係る換算差額	△44	60
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△7,302	△9,160
現金及び現金同等物の期首残高	30,757	31,343
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	61
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,455	22,243

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

会社法第165条第2項の規定による定款の定めに基づく自己株式の取得

当社は、平成27年5月12日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を買い受けることを決議しました。主にこの結果により、当第1四半期連結累計期間において自己株式が4,885百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末における自己株式は5,469百万円となっております。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

1) 前第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額
	化学品 事業	機能性 材料事業	農業 化学品 事業	医薬品 事業	卸売事業	その他の 事業	計		
売上高									
外部顧客に対する 売上高	6,102	10,410	11,499	2,471	10,215	1,792	42,491	—	42,491
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,374	1,433	835	—	3,910	2,025	10,580	△10,580	—
計	8,477	11,843	12,335	2,471	14,126	3,817	53,072	△10,580	42,491
セグメント利益又は セグメント損失(△) (営業利益又は営業損 失)	962	3,332	3,981	758	485	△109	9,411	△500	8,910

(注) 1. セグメント利益の調整額△500百万円には、セグメント間取引消去△60百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△440百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2) 当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額
	化学品 事業	機能性 材料事業	農業 化学品 事業	医薬品 事業	卸売事業	その他の 事業	計		
売上高									
外部顧客に対する 売上高	6,336	11,450	12,415	2,051	11,156	1,780	45,190	—	45,190
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,334	1,510	1,183	—	3,588	2,328	10,946	△10,946	—
計	8,670	12,960	13,599	2,051	14,745	4,109	56,137	△10,946	45,190
セグメント利益又は セグメント損失(△) (営業利益又は営業損 失)	1,462	3,370	4,396	384	465	△31	10,049	△622	9,426

(注) 1. セグメント利益の調整額△622百万円には、セグメント間取引消去△89百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△533百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

当社は、平成27年7月14日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議し、自己株式の消却を実施いたしました。

1. 消却する株式の種類 当社普通株式
2. 消却する株式の数 2,000,000株
(消却前発行済株式総数に対する割合 1.27%)
3. 消却実施日 平成27年7月31日

(ご参考)

消却後の発行済株式総数 156,000,000株 (自己株式を含む)